



令和6年度 学校だより 第3号

全校児童248名



みなみ

令和6年6月18日
第422号
燕市立燕南小学校

子どもの世界に肯定的に参与してみる ～素敵!! 何気ないやり取りから考えること～

校長 富田 一志

最近、3年生の算数の授業を行うことがあります。子どもたちと一緒に授業をしていると想定外のハプニングが多々あり、楽しいです。

私の授業は、「ノートを開きましょう。」からスタートします。みんながノートを開いたら、次に「〇月〇日(〇)を書きましょう。」と言います。最後に、「日付を書いたら鉛筆を置きましょう。」「静かに待ちます。」です。ワンパターンなのですが、ルーティーンとして大事にしています。授業始めは、極力難しいことはさせません。

さて、6月6日(木)のこと、いつものように、「6月6日と書きましょう。」と私は言いました。その時、私の脳の中で、「6月6日」と何かが繋がってしまいました。「♪6月6日に…♪」と、節をつけてつぶやいてしまった私。すると、子どもたちが、「UFOが♪ あっち行って♪ こっち行って♪ 落っこちて♪ …♪」と続けます。朗々と歌い始める表情は楽しそうです。さてみなさん、この歌が何かご存じでしょうか？

そうです。「ドラえもん えかきうた」です。昭和の小学生だった私は、この絵描き歌のおりドラえもんを描き、授業中、よく担任の先生に叱られていました。懐かしい思い出です。

さて、朗々と「ドラえもん えかきうた」を最後まで歌い切り、得意げな子どもたちに聞きました。「何で、この歌知ってるの?」「YouTubeで見た!」と子どもたち。なるほど、そういうことだったんですね。まさか、令和の子どもたちに、このような形で「ドラえもん えかきうた」が伝わっているとは。「今日は、令和6年6月6日だよ。」と、親切に補足する子もいて関心しました。

子どもたちから「絵描き歌描いて」とリクエストされたので(なかなか算数の授業が始まりません…)描いてみたのですが、私、絵描き歌自体は忘れていました。子どもたちに「描き方が違うよ」と。しかし、私の描いたドラえもんは「かわいい!」と好評でした。小学生の時から練習してきた成果です。

授業を終え、校長室に向かいながら、「子どもたちは、生活の中で様々なリソースから知識を得るものなのだなあ。」と妙に得心しました。子どもたちは、家庭教育を基礎として、学校、友人、本、メディア、地域、等々……、多様な媒介を通じて、その知識を拡充させていきます。自身の経験を通して、その経験を広げながら、こちらの意図を超え、時には偶発的に「自分の世界」を形成していくのです。

子どもたちと一緒に生活し、彼らの日常に触れ、共に楽しむ。子どものことをよく知ろうとする。幸せで素敵なことだなあと、ふっと感じた一日でした。